

※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。



被災地の子どもたち 思い切り大隅半島を楽しむ



8月3日から8日までの6日間、東日本大震災で被災した大船渡市のサッカーチーム「大船渡三陸FCシーガル」の小学5・6年生21人が大隅半島を訪れました。これは、鹿屋西ロータリークラブが、市内の子どもたちとのスポーツなどの交流を通して、今後の学校生活が元気いっぱいにご過ごせるような夏の思い出づくりになればと招待したものです。

鹿屋体育大学サッカー部による実技指導や、市内のサッカーチームとの交流試合で、大船渡の児童たちは「小学校の校庭には仮設住宅があり、思うように練習ができなかったのが、とても楽しかった」とうれしそうに話してくれました。

また、鹿屋航空基地の見学や体験搭乗、奥花瀬でのマス釣りを体験したほか、内之浦宇宙空間観測所や猿ヶ城溪谷などを訪れるなど、大隅半島を満喫している様子でした。

串良 **KUSHIRA** 関東串良会を開催



7月31日、東京の日本青年館で「平成23年度関東串良会」が行われました。

当日は、関東在住の串良出身者など約100人が参加。串良町の行事や近況などが紹介されました。

懇親会では、「渋谷おはら祭り」に参加する関東串良連の皆さんによるおはら節のお披露目などが行われ、ふるさとの話題で盛り上がりました。

7月 夏休みを活かし、 授業力の向上に努める



8月4日、第一鹿屋中学校で市内の小・中学校の教職員82人が参加して「授業力アップセミナーin鹿屋」が開催されました。

これは、市教育委員会が教員の指導力向上を目的にした初の試み。教科ごとに指導主事がビデオを活用したり、模擬授業を行ったりと授業改善のポイントを指導。参加した教員は、授業力向上のために、一生懸命学んでいました。

7月 ボランティアに 汗を流す



8月20日、平和・上田崎・新川ハイツの3市営住宅で、鹿屋肝属電気設備協同組合18人、鹿屋緑化造園建設業協会10人の合同によるボランティア作業が行われました。

当日は、高所作業車やチェーンソーなどを使用して、市営住宅周辺の生活に支障となる木の伐採などが行われ、見違えるように明るくなりました。